

公開用シラバス

中学社会科歴史総合・経済の授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
社会	歴史総合・経済	3年	必修	60	・社会科「中学生の歴史」 帝国書院 ・地理歴史科「詳述歴史総合」 実教出版 ・中学社会公民「ともに生きる」 教育出版	

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	歴史総合 歴史的な見方・考え方を働かせ、日本と世界の近世・近代史の学習を通して、歴史的課題を考察しする。広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な市民的資質・能力の基礎を培う。 なお、近現代史を中心に高校「歴史総合」教科書を用いて、高校的内容についても触れる。 経済 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。
--------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	①日本の近代化（岩倉使節団～条約改正） ②ヨーロッパ諸国の近代化と発展 ③帝国主義と日本（日清戦争～日露戦争）	①第一次世界大戦とヴェルサイユ体制 -----中間考査まで----- ②生活と経済 ③消費者と経済	①企業と経済（生活と企業～企業の社会的責任） ②これからの日本経済（景気の変動～日本経済と私たち） ③財政（生活と財政～これからの日本財政）
備考	高校「歴史総合」教科書を一部使用	高校「歴史総合」教科書を一部使用	

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	小テスト、宿題テスト等 定期考査（配点の約 50％）	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C	3 段階 3 段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り <u>知識等：思考等：主体的態度</u> <u>= 4：4：2</u>
	思考・判断・表現	定期考査（配点の約 50％） パフォーマンス評価（課題レポート）		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C	3 段階 3 段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価（課題レポート、ノート：内容＆中長期的変容）及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C	3 段階 3 段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。